

参 考 手 本

村深く午鶏を報ぐ



※これは規定課題ではありません。

高 木 聖 雨 先 生

参 考 手 本

詩は題す窓外の竹

外 詩
竹 題
窓

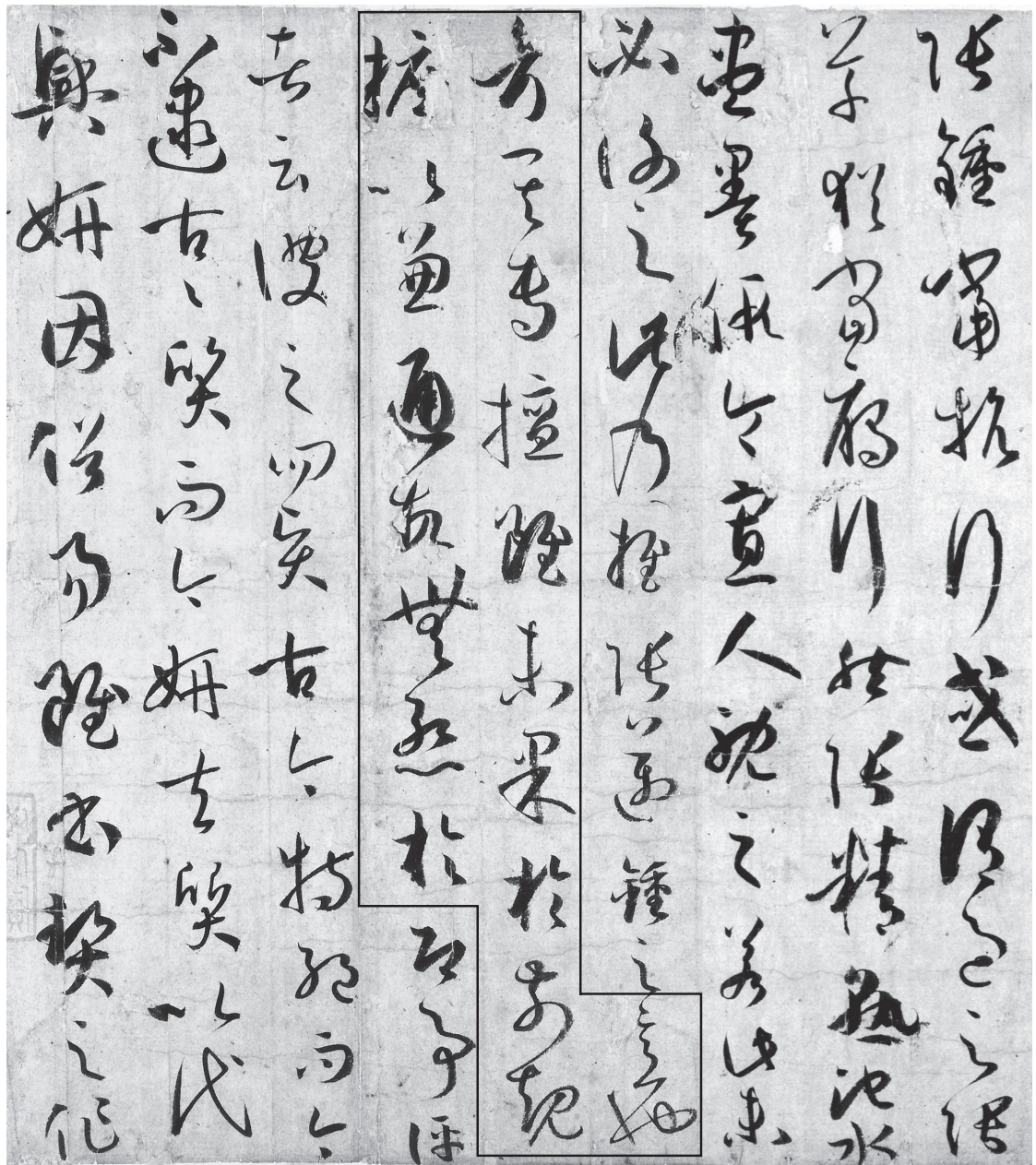
成 瀬 映 山 先 生

※これは規定課題ではありません。

条幅規定

A部 (準五段以上)

『書譜』⑦ 孫過庭



考... 隆... あ... 撫... 通... あ

条幅のバーコード出品券にはA・Bでは無く段・級を記入してください

【この課題を同月の条幅随意には出品出来ません】

(20字)

【今月の課題】

「意也考其專擅雖未果於前規撫以兼通故無慙於」

張。鍾當抗行。或謂過之。張草猶當厲行。然張精熟。池水盡墨。假令寡人耽之若此。未必謝之。此乃推張適鍾之意也。考其專擅。雖未果於前規。撫以兼通。故無慙於即事。評者云。彼之四賢。古今特絕。而今不逮古。古質而今妍。夫質以代興。妍因俗易。雖書契之作。

鍾には当に抗行すべく、或いは謂えらく、之に過ぎんと。張の草には猶當に厲行すべきも、然れども張は精熟して、池水尽く墨となる。假令寡人^{なほまじ}之に耽ること此くの如くんば、未だ必ずしも之に謝じずと。此れ乃ち張を推して鍾に邁ぐとするの意なり。其の專擅を考うるに、未だ前規より果ならずと雖も、撫りて以て兼ね通ず。故に即事には慙する無し。評者云く、彼の四賢は、古今の特絶にして、而して今の古に逮ばざるは、古は質にして今は妍なればなりと。夫れ質は代を以て興り、妍は俗に因りて易わる。書契の作るや、

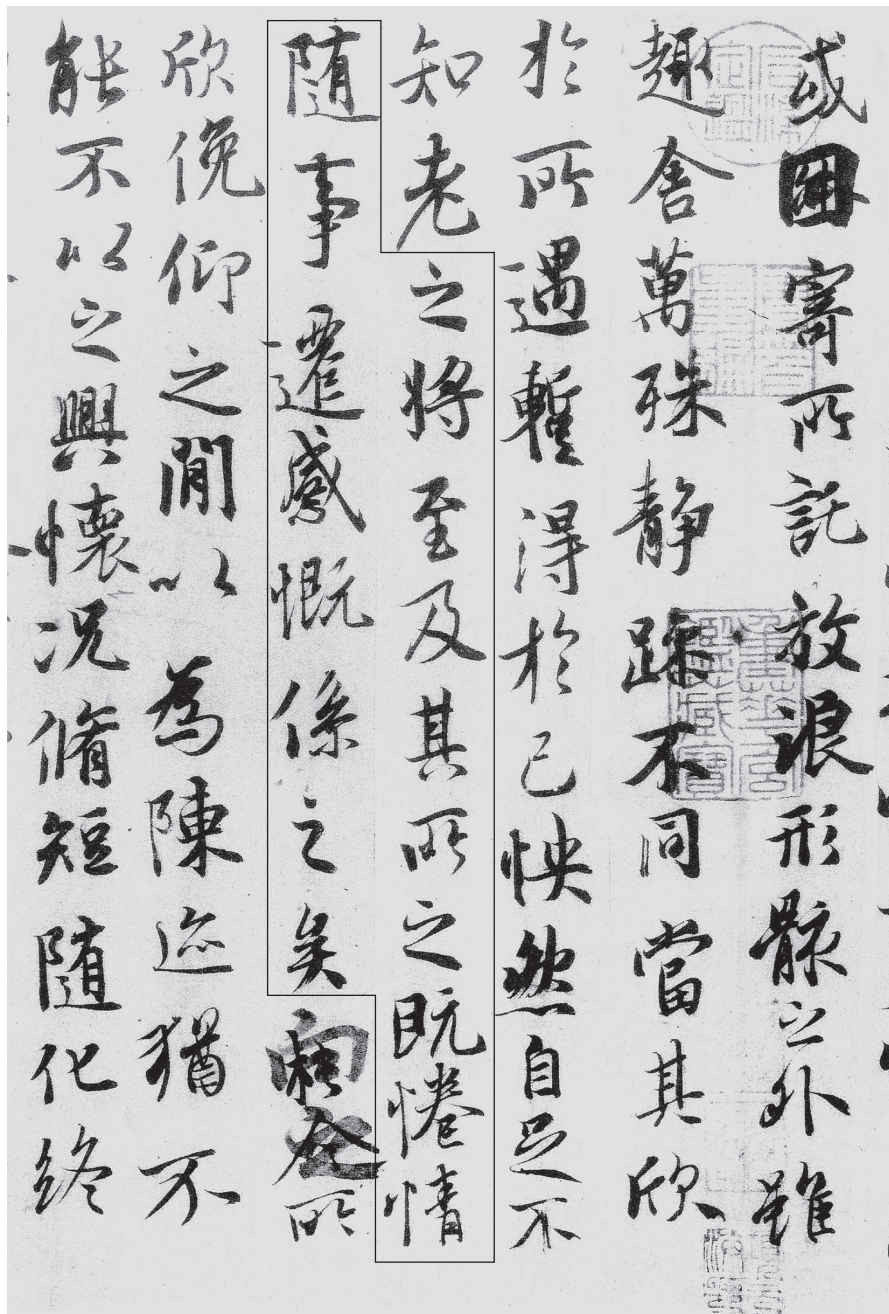
(12月10日締切)

条幅規定

B部 (四段以下)

『蘭亭叙』

王羲之 (東晋)



所事遷

或因寄所託。放浪形骸之外。雖
趣舍萬殊。靜躁不同。當其欣
於所遇。暫得於己。快然自足。不
知老之將至。及其所之既倦。情
隨事遷。感慨係之矣。向之所
欣。俛仰之間。以為陳迹。猶不
能以之興懷。況脩短隨化。終

或いは寄せて託する所に因つて、
形骸の外に放浪す。趣舍万殊にし
て、静躁同じからずと雖も、其の
遇う所に欣び、暫く己れに得るに
当たつては、快然として自ら足り、
老の將に至らんとするを知らず。其
の之く所既に倦み、情は事に隨
いて遷るに及んで、感慨之に係われ
り。向の欣ぶ所は、俛仰の間、以
に陳迹と為るも、猶お之を以て懷
を興さざる能わず。況んや脩短は
化に隨い、終に

【今月の課題】

「之將至及其所之既倦情
隨事遷感慨係之矣」

(18字)

「この課題を同月の条幅随意には出品出来ません」

条幅のバーコード出品券にはA・Bでは無く段・級を記入してください

(12月10日締切)

半紙規定 (二)

半紙規定 (一)

曹全碑 (漢・作者不詳)



祖父敏舉孝

※清書作品には支部名・段級・雅号を必ず筆で記入して下さい。

高祖父敏は孝廉に挙げられ

九成宮醴泉銘 (唐・欧陽詢)

既可蠲茲沈



※清書の提出は〔初段以上〕楷書か隸書
〔二級以下〕楷書

既に茲の沈痼を蠲く可く

〔この課題を同月の半紙随意には出品出来ません〕
(12月10日締切)

条幅参考手本

秋月清於水 孤舟放鶴歸 不知荷葉露 風卷上人衣

知荷葉露風卷上人衣

紫仙

野口紫仙先生

秋月清於水 孤舟放鶴歸 不知荷葉露 風卷上人衣

秋月水よりも清く 孤舟鶴を放つて帰る 知らず荷葉の露 風巻いて人衣に上る

朝平霞山先生

客倦南來路 河分向北流 明朝望鄉淚 流不到江頭

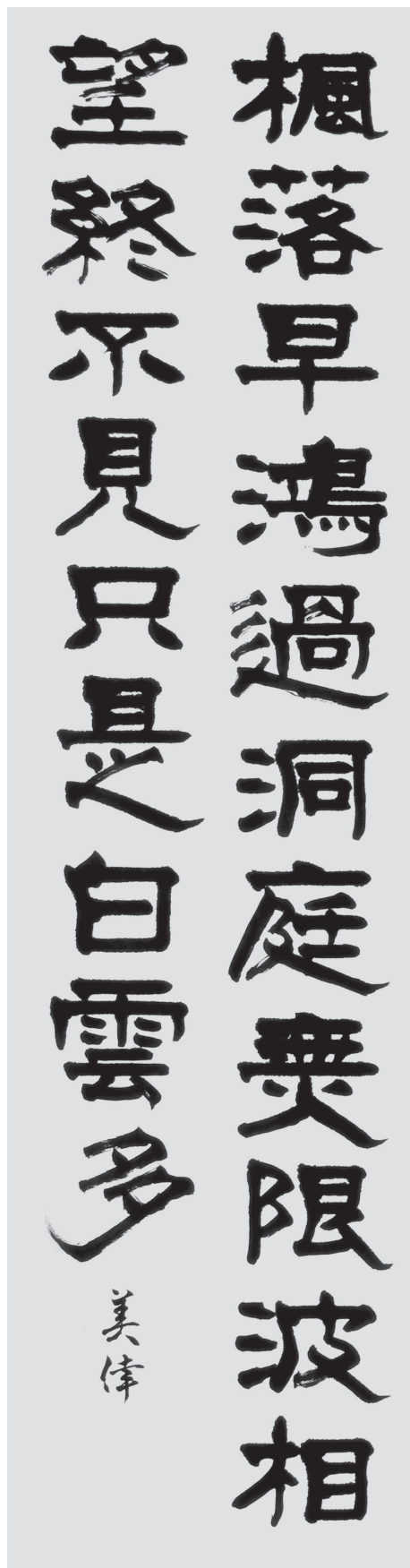
客望南來路 河分向北流 明朝望鄉淚 流不到江頭

客倦南來路 河分向北流 明朝望鄉淚 流不到江頭

客南來の路に倦んで 河分かれて北流に向かう 明朝望郷の涙 流れて江頭に到らず

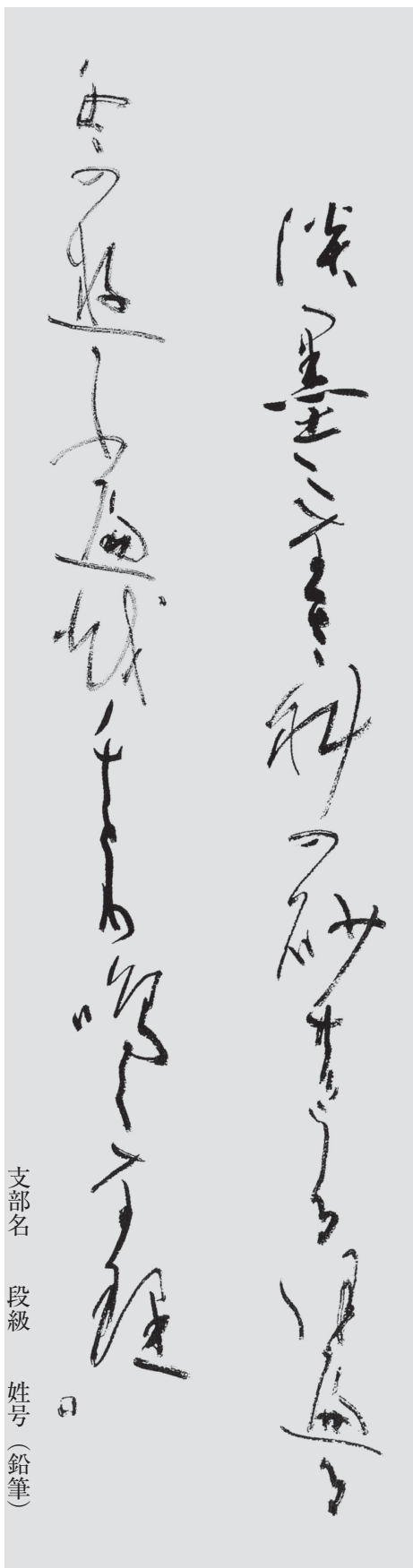
条幅参考手本

条幅かな



堤 美偉 先生

楓落早鴻過 洞庭無限波 相望終不見 只是白雲多
 楓落ちて早鴻過ぎ 洞庭無限の波 相い望むも終に見ず 只だ是れ白雲多し



浮 乗 清 郷 先生

うす墨すみになぎさなの砂すなのうるほへる冬のゆふべを千鳥ちどりなくなり (若山牧水)
 淡 二 奈 斜 農 保 遍 遊 遍 越 (一) 利 鳴 奈 理

※かな部は支部名・段級・姓号を鉛筆で左下部に添え書きして下さい。

支部名 段級 姓号 (鉛筆)

(12月10日締切)

半紙かな（1級以下）

古郷は雲の先也秋の暮（小林一茶）

Handwritten calligraphy of the poem: 古郷は雲の先也秋の暮. The characters are written in a cursive style on a vertical strip of paper.

支部名 級 姓 号 (鉛筆)

※ちらし文字変換は自由

※支部名・級・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。

半紙かな（初段以上）

有明の海のにごりに鴨あまたうかべり船は島原に入る（若山牧水）

Handwritten calligraphy of the poem: 有明の海のにごりに鴨あまたうかべり船は島原に入る. The characters are written in a cursive style on a vertical strip of paper.

支部名 段 姓 号 (鉛筆)

※ちらし文字変換は自由

※支部名・段・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。

(12月10日締切)

実 用 文

※準三段以上…行書を草書に変換は自由

〈書風任意〉

割り箸の袋やお菓子の包装紙
お店の看板などに変体かなや
草書を散見することがあります。
少しずつ覚えると良いです。
支那名 段級 姓号

石田輝仙先生

(12月10日締切)

細 字

里童多少竿籠釣鱗
 里童多少竿籠釣鱗
 里童多少竿籠釣鱗
 里童多少竿籠釣鱗

支部

段級

姓

号

(名前は必ず楷書で書くこと)

※一級〜八級は草書まで。 初段以上は隷書まで。

※名前は楷書以外では違反になります。

17 cm (よこ) × 24 cm (たて)

竿^{かん}里^り

籠^{ろう}童^{どう}

田舎の子供。
魚釣り竿と魚入れの籠。

硬筆（1級以下）

2行、楷書

成し遂げんと決心したる目的を
 唯一の敗北によって捨て去るな。
 支部 級 姓 号

田邊翠鶴先生

硬筆（初段以上）

3行、行草書

…濃淡…奥行き…線…使い…通して…。

墨の濃淡が文字に表情を与え、奥
 行きを生む。濃く淡く線を使い分け
 る。筆を通して感情が現れる。
 支部 級 姓 号

青柳江雲先生

※本院定型用紙・たて半分に書く

(12月10日締切)

中2用

支部名
段級
名
前

晩秋 静かな

渡邊南嶂先生

中3用

支部名
段級
名
前

漢字の音訓

大越三宗先生

小6用

支部名
段級
名
前

初雪の山

渡邊南嶂先生

中1用

支部名
段級
名
前

雪の降る日

渡邊南嶂先生

(12月10日締切)

小4用

支 部 名	あ毛
段 級	
名 前	み糸

大越三宗先生

小5用

支 部 名	の石
段 級	
名 前	里油

大越三宗先生

小2用

支 部 名	トホ
段 級	
名 前	又

鈴木翫恵先生

小3用

支 部 名	空七
段 級	
名 前	七

鈴木翫恵先生

(12月10日締切)

中1

処すべきか考えよう。対
情報化の時代にどう

中1~中3

中2

優れた芸術は、時代を
こえて愛され続ける。

青柳江

中3

自然を破壊しない科学
の発達が望まれる。

雲先生

小1・幼年用

支部名

段級

名

前

よる

鈴木蕙先生

小1・幼年

おじいちゃん、りん
ごえんにいきました。

小1~小3

小2

大きなとりがゆうゆう
と空をとんでいます。

齊藤蕨

小3

すてきな音楽は、ここ
ろよい気分になれる。

流先生

小4

図書かんで、ゆっくり
と本を読みたい。

小4~小6

小5

新しいカーテンで、部
屋が明るく感じられた。

鈴木蕙

小6

人間が他の動物とちが
う点は火を使うことだ。

翠先生

(12月10日締切)

小学部小筆課題

支部名 段級 名前

主幹 菅野翠濤

秋の空
わたり鳥飛ぶ

中学部かな課題

支部名 段級 名前

船久保 棠苑先生

銀杏に
ちりちりの
空暮れにけり

※半紙半分を書いて下さい。(12月10日締切) ※半紙半分を書いて下さい。

1月10日締切課題予告

A部条幅規定 即事評者云彼之四賢古今特絶而今不逮古古質

B部条幅規定 凶々所欣俛仰之間以爲陳迹猶不能不以之興懷

かな条幅規定 大原やをしほの山のこまつ原はや木高かれ千代の影みむ(紀貫之)

半紙規定(初段以上) 廉武威長史 半紙規定(一級以下) 瘡又將延彼

半紙かな(初段以上) ことしより君がよはひをよみて見む松の千とせをあり数にして(良寛)

半紙かな(一級以下) 子の日しに都へ行ん友もがな(松尾芭蕉)

実用文 ゆく河の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず。よどみに浮ぶうたかたは、かつ消えかつ結びて、久しくとどまりたるためしなし。

一般硬筆(初段以上) 除夜の鐘がひとつずつ街に響いていた。それぞれの願いが静かに空へ昇っていく。年を越すという儀式が愛おしい。

一般硬筆(一級以下) 古今東西、名著といわれる多くの本が私に英知を与えてくれた。

令和8年学生書初めコンクール課題1月13日(火)締切

高校毛筆 春風生福寿 高校硬筆 十二月号13ページ一般硬筆一級以下課題(行書可)

中三毛筆 富岳百景 中三硬筆 新年を祝し、皆様のご多幸をお祈り申します。

中二毛筆 新雪遠山 中二硬筆 賀春、心より新年のお祝いを申し上げます。

中一毛筆 初春大空 中一硬筆 本年もよろしくご指導お願い申し上げます。

小六毛筆 今年の夢 小六硬筆 昨年は、お世話になりお礼申し上げます。

小五毛筆 元日の朝 小五硬筆 本年が良い年になるよう願っております。

小四毛筆 明るい光 小四硬筆 新しい年の初めを、おいおい申し上げます。

小三毛筆 たこ上げ 小三硬筆 本年もよろしくおねがいます。一月一日。

小二毛筆 かどまつ 小二硬筆 お正月に、かるたやトランプであそびたい。

小一毛筆 はつひ 小一硬筆 あけましておめでとございます。